



あんじゅうサポートクラブ

西宮市における住宅確保要配慮者と空家問題の二つの
社会課題にチャレンジする



住宅確保要配慮者の範囲

※西宮市ホームページより抜粋



あんじゅうサポートクラブで
主に係わる方々

- ① 低額所得者
- ② 被災者(発災後3年以内)
- ③ 高齢者
- ④ 障害者
- ⑤ 子ども(高校生相当以下)を
養育している者
- ⑥ 外国人
- ⑦ 中国残留邦人
- ⑧ 児童虐待を受けた者
- ⑨ ハンセン病療養所入所者等
- ⑩ DV被害者
- ⑪ 北朝鮮拉致被害者等
- ⑫ 犯罪被害者等
- ⑬ 生活困窮者
- ⑭ 矯正施設退所者
- ⑮ 激甚な非常災害による被災者
- ⑯ 海外からの引揚者
- ⑰ 新婚世帯
- ⑱ 原子爆弾被爆者
- ⑲ 戦傷病者
- ⑳ 児童養護施設等退所者
- ㉑ L G B T
- ㉒ 養護者等による虐待を受けた者
- ㉓ 低額所得世帯の学生
- ㉔ 要配慮者に対して生活支援等を行う者

※兵庫県住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画に準ずる

住宅の確保に特に配慮を要する方々

あんじゅうサポートクラブの5つの取組



1、課題の抽出・整理及び検討

西宮市と連携し障害者・高齢者等の住宅確保要配慮者への住まいに関する実態調査を実施。また不動産業者に対しても住宅確保要配慮者への対応等についてヒアリング調査を行う。そしてその課題を抽出整理検討する。



2、懇談会の実施・相談窓口設置

上記課題をテーマとして福祉事業者・宅建業者・司法書士等各々の専門家に大学教授そして学生も含めミニセミナー及び懇談会を数回実施し相互理解を深め、このチームで総合相談窓口を担い課題の解決をはかる。



3、ボランティア体制の構築

西宮市及び西宮っ子還暦式運営協議会と連携し市民ボランティアを募り、持続可能なボランティア体制の構築をはかる。



4、手引書作成

上記の取組みをまとめ「住宅確保要配慮者のための空き家利活用手引書」を作成する。



5、物件確保とモデル事業

連携体として「(仮称)西宮市空き家受入れ機構」を立上げ、物件を確保するとともに支援事業を実施して上記「手引書」の内容を検証していく。



あんじゅうサポートクラブ活動メンバー



代表 中野 敬偉子

NPO法人しんぽ 管理者、NPO法人西宮マンション管理組合ネットワーク 理事長

妹尾 和江

大門 栄子

津崎 武志

阿部 文枝

メンバーが所持する資格

主任介護支援専門員 宅地建物取引士 行政書士

社会福祉士 精神保健福祉士 作業療法士 高齢福祉カウンセラー

二級建築士 空き家相談士 公認不動産コンサルティングマスター

JSHI公認ホームインスペクター 建築物石綿含有建材調査者

福祉住環境コーディネーター2級 他

会員・ボランティア 募集中！！